

令和6年度

川俣町の わかりやすい予算



かわまた認定こども園の利用料無償化



貸事業所の整備



まちの宝「里山」の活用



川俣町

町では、町の予算の概要と主な事業について、町民の皆さまにお気軽にご覧いただけるよう、本書『川俣町のわかりやすい予算』を作成しております。

今年度は、第6次川俣町振興計画の2年目として、昨年度から引き続き、「子育て支援」、「移住・定住」、「活力ある産業」、「みんなの生きがいづくり」の4つの重点施策を中心に予算を配分し、振興計画に掲げる6つの基本目標の達成に向けて取り組んでまいります。

「子育て支援」として、こども家庭センターの開設や認定こども園利用料の無償化等により、子どもの成長に合わせた多方面からの施策の充実を図ることをスタートとし、町内外事業者の活動拠点となる貸事業所の整備や、町の宝である里山を活用した魅力発信などにより、「活力ある産業」の底上げを図りながら、移住・定住相談支援センターによるワンストップ相談窓口の運営など、移住者に向けた住環境の整備等を行うことで「移住・定住」を促進し、サロン活動への支援等により、みんなが健康でいきいきと「生きがいづくり」ができる町を目指してまいります。

そのほか、川俣町斎場の竣工や、SDGsの目標達成に向けた地球温暖化対策の推進・循環型社会の構築など、今の時代にふさわしい多様なアプローチによる事業を展開してまいります。

本書をご一読いただき、本年度の町の予算や各種事業について、理解を深めていただければ幸いです。どうぞご覧ください。

令和6年5月

川俣町長 藤原 一二

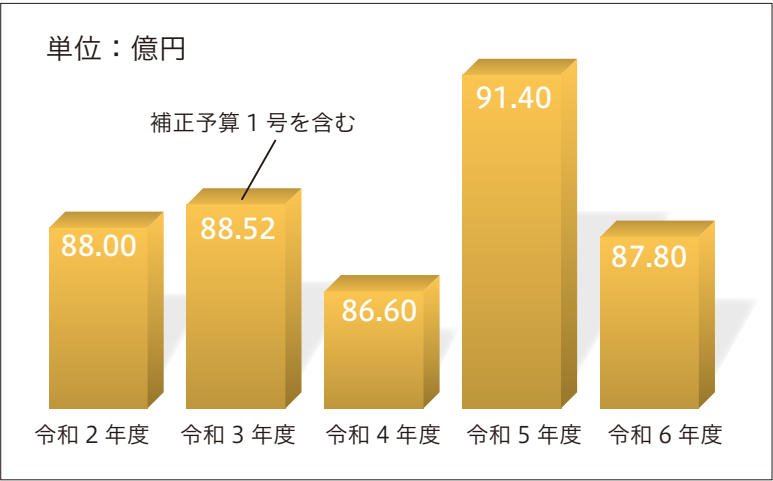


○一般会計の予算規模

町民の皆さんに密接に関連する基本的な行政サービスの収入と支出を経理する「一般会計」の令和6年度当初予算は、87億8,000万円となり、前年度当初予算額91億4,000万円に比べ、3億6,000万円、率にして3.9%の減となりました。

予算額	前年度対比 (増減額)
87 億 8,000 万円	▲ 3 億 6,000 万円

一般会計当初予算額の推移



基礎知識①

予算って何ですか？

予算とは、町の1年間の収入と支出の計画です。新しい年度が始まる前に、1年間（4月から翌年3月まで）にどのくらいの収入があるか、その収入をもとにしてどのような行政サービスを行うのかを計画し、その費用を見積ります。これらの内容をまとめたものが予算書です。川俣町に入ってくるお金のことを「歳入」、使うお金のことを「歳出」と呼びます。

○その他の会計の予算規模

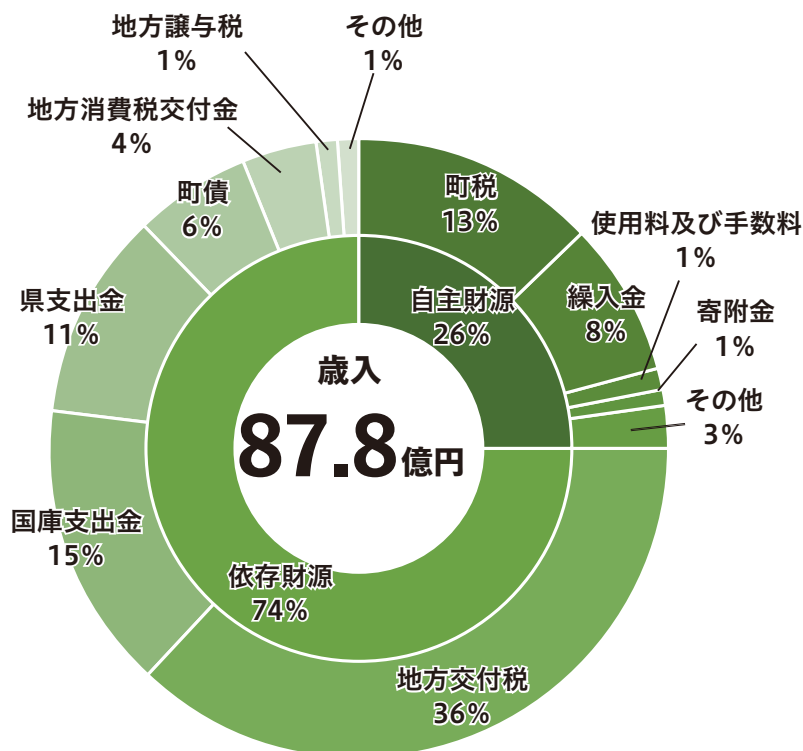
特定の目的や事業に関する収入と支出を経理する「特別会計」と、町が運営する公営企業の収入と支出を経理する「公営企業会計」の令和6年度当初予算は、下記のとおりです。

区分			予算額	前年度対比 (増減額)	事業内容
特別会計	国民健康保険特別会計	事業勘定	14 億 6,999 万 8 千円	▲ 3,140 万円	国民健康保険に加入している方の医療費等の給付
		施設勘定	1,536 万 2 千円	0	山木屋診療所の管理等
	介護保険特別会計		20 億 4,342 万 5 千円	▲ 82 万 6 千円	65 歳以上の要介護・要支援の方への保険給付
	後期高齢者医療特別会計		2 億 934 万 4 千円	784 万 4 千円	75 歳以上の方への医療費等の給付
	奨学資金特別会計		1,284 万 8 千円	▲ 52 万 5 千円	奨学資金の貸与
	工業団地造成事業特別会計		5,245 万 5 千円	1,596 万 5 千円	中山・西部工業団地などの管理等
	財産区特別会計 (5 財産区)		4,232 万 7 千円	317 万 3 千円	小島、飯坂、大綱木、小綱木、山木屋財産区の財産管理
公営企業会計	水道事業会計 (収益的収入)		2 億 6,296 万 9 千円	323 万 4 千円	水道水の供給及び水源・水道管の整備・維持管理

○一般会計歳入予算

令和6年度一般会計当初予算における歳入予算の内訳は、下記のとおりです。

項目	説明	金額	前年度対比 (増減額)
自主財源	町が自主的に調達できる収入	22 億 9,618 万 3 千円	▲ 3 億 1,081 万円
町税	町に納めていただく税金	11 億 6,767 万 9 千円	▲ 3,611 万 7 千円
分担金及び負担金	事業にかかる経費の一部を受益者の皆さんに負担していただくお金	3,387 万 3 千円	▲ 69 万 1 千円
使用料及び手数料	施設利用や証明書を発行する際にいただくお金	7,322 万 5 千円	392 万 6 千円
繰入金	各種基金（預金・運用資金）の取り崩しや特別会計から収入するお金	7 億 4,871 万 4 千円	▲ 1 億 7,618 万 1 千円
その他	寄附金、町の財産貸付収入、前年度からの繰越金、その他の諸収入金	2 億 7,269 万 2 千円	▲ 1 億 174 万 7 千円
依存財源	国・県からの交付、割り当てられる財源や町債（借金）	64 億 8,381 万 7 千円	▲ 4,919 万円
譲与税・交付金・交付税	皆さんが国に納めた税金の一部を国が町に再配分するお金	36 億 9,817 万円	2 億 1,381 万 9 千円
国・県支出金	皆さんが国や県に納めた税金の一部（使い道は決められています）	22 億 9,331 万円	▲ 1 億 47 万 1 千円
町債	国や銀行等からの借入れ（借金）	4 億 9,233 万 7 千円	▲ 1 億 6,253 万 8 千円
計		87 億 8,000 万円	▲ 3 億 6,000 万円



基礎知識②

予算は誰が決めるの？

町長は、各担当課で見積った歳入・歳出の案をまとめて、予算案を町議会に提出します。

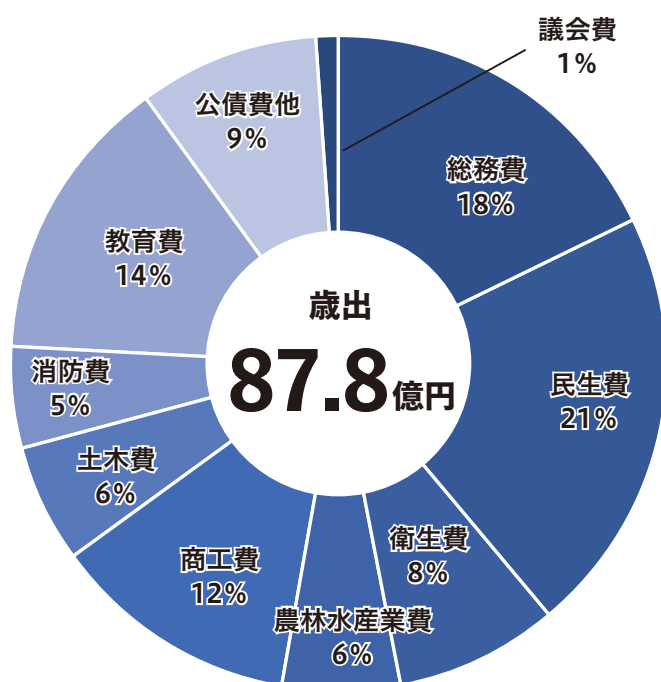
提案された予算案を町議会で行ういろいろな面から審議し、最終的に議決により予算が決定されます。



○一般会計歳出予算【目的別】

令和6年度一般会計当初予算における、お金を使う目的別の歳出予算の内訳は、下記のとおりです。

項目	説明	金額	前年度対比 (増減額)
議会費	議員報酬や議会事務局職員の人件費などの議会運営に使うお金	1億990万円	711万円
総務費	財政、税務、戸籍、選挙、交通対策及び原子力災害対策など町政全般の管理運営に使うお金	16億2,160万5千円	▲4億4,068万2千円
民生費	児童・高齢者・障がい者などの福祉や地域医療対策、子育て支援などに使うお金	18億3,424万9千円	1億2,542万4千円
衛生費	検診や予防接種などの保健衛生や循環型社会の形成、地球温暖化対策、ごみ処理などの環境保全及び火葬場運営に使うお金	7億1,266万8千円	▲2億8,108万7千円
農林水産業費	農業・林業・畜産の振興や有害鳥獣対策、森林整備や農道・林道などの新設・維持管理に使うお金	5億380万2千円	4,871万7千円
商工費	商工業の振興や観光、移住・定住、道の駅や工業団地の管理などに使うお金	10億1,306万8千円	4億8,732万4千円
土木費	道路、河川、公園及び公営住宅などの新設・維持管理や空家対策などに使うお金	5億3,775万2千円	▲63万6千円
消防費	屯所の整備などの消防団に係る経費や火災、風水害、地震等への防災・災害対策に使うお金	4億5,110万6千円	▲1,298万3千円
教育費	認定こども園、小・中学校、学校給食センターや公民館、体育施設など教育・文化・スポーツ振興に使うお金	12億3,157万4千円	▲2億9,158万1千円
災害復旧費	地震や台風などの災害により被災した施設の復旧に使うお金	5千円	▲1,200万円
公債費	国や銀行等から借り入れた借金（町債）の返済に使うお金	7億4,427万1千円	1,039万4千円
予備費	緊急に支出を必要とする場合に備えたお金	2,000万円	0
計		87億8,000万円	▲3億6,000万円



基礎知識③

予算案って どうやって作るの？

町長の政策方針を基本に、財政状況や町が定めているさまざまな計画などにそって策定します。

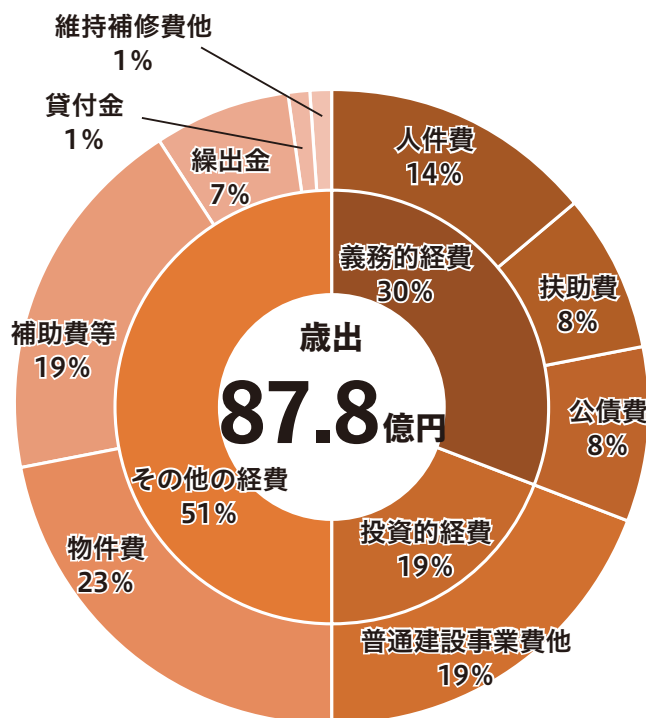
限られた財源を有効活用するため、事業実施の優先順位をつけることがとても重要になります。



○一般会計歳出予算【性質別】

令和6年度一般会計当初予算における、お金を使う性質別の歳出予算の内訳は、下記のとおりです。

	説 明	金 額	前年度対比 (増減額)
義務的経費	法令などにに基づき毎年必ず支出する経費	26 億 6,387 万 1 千円	9,144 万 5 千円
	人件費	12 億 2,647 万 7 千円	2,373 万 4 千円
	扶助費	6 億 9,312 万 3 千円	5,731 万 7 千円
	公債費	7 億 4,427 万 1 千円	1,039 万 4 千円
投資的経費	道路や建物などの社会資本の整備にかかる経費	16 億 5,246 万 1 千円	▲ 5 億 740 万 7 千円
	普通建設事業費	16 億 5,245 万 6 千円	▲ 4 億 9,540 万 7 千円
	災害復旧事業費	5 千円	▲ 1,200 万円
その他の経費		44 億 6,366 万 8 千円	5,596 万 2 千円
	物件費	19 億 7,123 万 9 千円	4,967 万 3 千円
	補助費等	16 億 9,776 万 5 千円	▲ 200 万 8 千円
	繰出金	5 億 9,245 万 4 千円	97 万円
	維持補修費	6,158 万 2 千円	732 万 5 千円
	貸付金	1 億円	0
	積立金	2,062 万 8 千円	2 千円
	予備費	2,000 万円	0
計		87 億 8,000 万円	▲ 3 億 6,000 万円



基礎知識④

一度決められた予算は 変えられないの？

地震や台風等の自然災害が発生した場合等、想定外の経費増加がある場合には、それに対応するため変更の予算案を作り、当初予算と同じように町議会へ提出し、審議のうえ議決により補正予算が決定されます。補正予算は、通常は、6月、9月、12月、3月の定例町議会に提案しますが、定例町議会以外にも、臨時議会での議決により予算を変えることもできます。

第6次振興計画とまちの予算

川俣町振興計画とは

町の総合的な指針であり、目指すべきまちづくりの方向性を示す計画です。

町では、令和5年度から令和16年度を期間とする『第6次川俣町振興計画』を策定しております。

振興計画は「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成され、「基本構想」は令和16年度を目標とし、まちづくりの基本的な理念を定めています。

「基本計画」は6年ずつ前期、後期に分けられており、令和5年度から令和10年度を期間とする前期基本計画においては、特に重点的かつスピード感を持って分野横断的に推進していくべき4つの重点施策と、まちづくりを総合的に推進していくうえで目指すべき6つの基本目標を定めています。

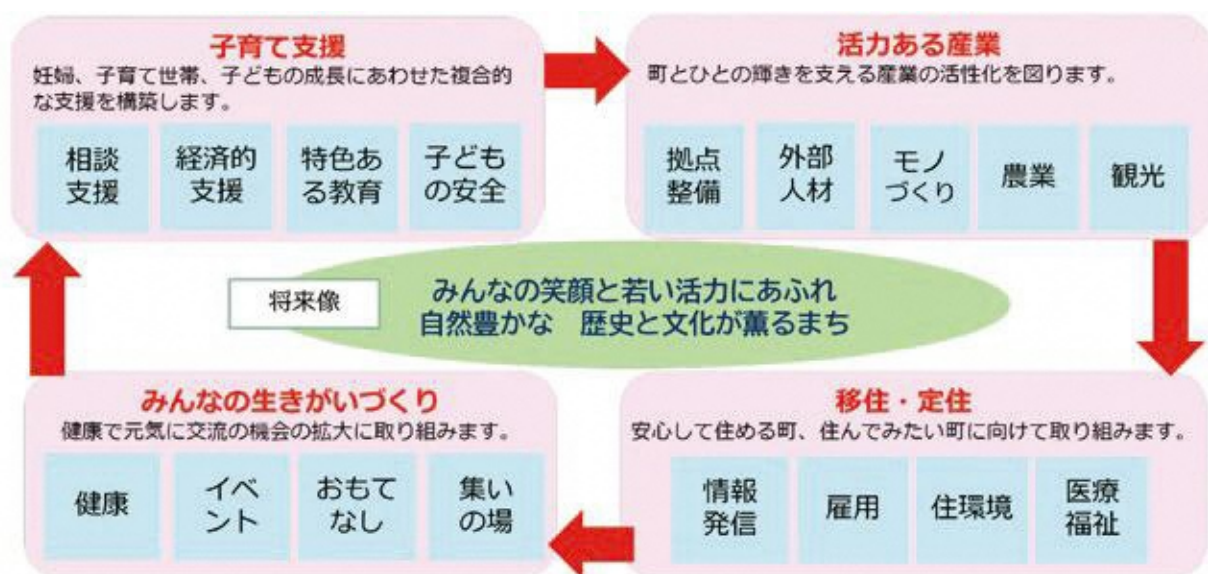
また、国で閣議決定された「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえ、デジタル技術を活用し、社会課題解決や魅力向上の取り組みを進めていくこととしております。

町はそれらの重点施策と基本目標をもとに様々な事業を推進し、町が目指す将来像である『みんなの笑顔と若い活力にあふれ 自然豊かな 歴史と文化が薫るまち』を目指しております。

令和6年度は、第6次振興計画の2年目として、引き続き4つの重点施策を中心に継続して取り組みます。

妊娠から入学まで、子どもの成長に合わせた複合的な「子育て支援」をスタートとして、「活力ある産業」と「移住・定住」を推進し、みんなが健康でいきいきと「生きがいづくり」ができるよう、各施策を展開することにより他の施策に好循環をもたらし、町の発展や町民の活動や交流の広がりにつなげるよう努めます。

【第6次川俣町振興計画における4つの重点施策】



《重点施策別 令和6年度の主な事業》

重点施策Ⅰ 子育て支援

少子高齢化と人口減少による活力低下をくい止め、持続可能な社会を実現するため、子どもを生み育てるための様々な支援や環境を充実させ、次世代の人材を確保していきます。

若い世代をはじめとして、出会い、結婚から出産、子育てのあらゆる段階における支援の充実を図ります。さらに、次世代を担う子どもたちが心も身体も健全にすくすくと成長し、豊かな学びを得ることができるよう取組を総合的に推進します。

【新規】こども家庭センターの開設

予算	1,089万3千円	財源	補助 348万6千円 町 740万7千円
----	-----------	----	-------------------------

妊婦、子育て世帯、子ども本人に対しての一体的な相談支援体制を整備します。



【新規】認定こども園利用料の無償化

予算	1,500万円	財源	町 1,500万円
----	---------	----	-----------

【継続】認定こども園及び小・中学校給食費の無償化

予算	5,810万1千円	財源	町 5,810万1千円
----	-----------	----	-------------

認定こども園の利用料、給食費及び町内小・中学校の給食費を完全無償化します。



【新規】川俣高校の魅力向上

予算	1,005万9千円	財源	町 1,005万9千円
----	-----------	----	-------------

地域みらい留学を活用した県外募集に向けた川俣高校の魅力向上を推進します。



重点施策Ⅱ

活力ある産業



本町に魅力を感じて暮らし続けられるよう、地場産業の活力を高め雇用機会の創出を図ります。中心市街地の活性化や既存産業の経営基盤の強化に加え、福島イノベーション・コースト構想との連携や企業誘致、起業支援による新たな産業の創出に向けた取組を推進します。また、充実した就労環境を確保するための取組を推進します。

【新規】貸事業所の整備

予算	5億1,414万2千円	財源	補助 3億8,560万7千円 町 1億2,853万5千円
----	-------------	----	---------------------------------

新規事業化に取り組む外部企業及び町内事業者の活動拠点となる貸事業所を整備し、雇用創出を図ります。



【継続】担い手育成総合支援事業

予算	689万4千円	財源	補助 675万円 町 14万4千円
----	---------	----	----------------------

新規就農者へ支援金を交付します。



【継続】モノづくりの活性化

予算	385万円	財源	町 385万円
----	-------	----	---------

産官学で連携したモノづくり技術の継承と革新を図ります。



【継続】里山ツーリズムの構築

予算	3,906万8千円	財源	補助 1,953万4千円 町 1,953万4千円
----	-----------	----	-----------------------------

町の宝である「里山」を観光資源化するためのツアーや情報発信を行います。



重点施策Ⅲ

移住・定住



本町に住まう人々が住み慣れた地域で暮らし続けたいと思うまちづくりを進め、生活の様々な場面において快適な環境を確保し、定住を促進します。

また、本町の個性や魅力を広く効果的に発信し、町外からの移住を促進するとともに、町外に住みながら本町へ定期的に通うサテライトオフィスやワーケーションなど多様な町外人材との新たな関わりを創出する取組を推進します。

【継続】移住・定住等の支援

予算	3,982万5千円	財源	補助 2,986万8千円 町 995万7千円
----	-----------	----	---------------------------

移住・定住促進事業交付金

予算	4,600万円	財源	補助 2,400万円 町 2,200万円
----	---------	----	-------------------------

移住・定住に係る情報発信、ワンストップ相談窓口の運営並びに町外からの移住者へ空家の改修や就農等に係る支援金の交付などを行います。



【継続】移住者向け住宅の整備

予算	3,719万1千円	財源	補助 2,789万3千円 町 929万8千円
----	-----------	----	---------------------------

町営住宅の一部を移住者向けに改修します。



【新規】空き家対策総合支援事業

予算	324万円	財源	補助 162万円 町 162万円
----	-------	----	---------------------

移住者や二地域居住者、新婚・子育て世代の空き家改修費用を補助します。

【拡充】地域おこし協力隊の受け入れ・活用

予算	7,682万6千円	財源	町 7,682万6千円
----	-----------	----	-------------

地域活性化や農業等に従事する地域おこし協力隊の受け入れを行います。



重点施策Ⅳ

みんなの生きがいづくり

誰もがまちづくりを支える担い手として、いきいきと活躍し続けることができる環境づくりを進めます。年代や性別に関係なく、住民一人ひとりが社会の一員として生きがいをもって、暮らしていくことができるよう、多角的な取組を推進します。様々な交流や地域活動への参画、生涯学習による学び続けることができる環境づくり、スポーツへの参加促進など、活躍の場や機会の拡大を推進します。

【継続】町民ウォーキング大会の開催

予算	150万円	財 補助 112万5千円 源 町 37万5千円
----	-------	----------------------------



【継続】健康ポイント事業の実施

予算	108万7千円	財 補助 81万5千円 源 町 27万2千円
----	---------	---------------------------

高齢者にもやさしいコースを楽しく歩くウォーキング大会やポイントがたまると記念品がもらえる健康事業を開催します。

【新規】川俣町体育館の暑さ対策

予算	2,255万円	財 借入 2,250万円 源 町 5万円
----	---------	-------------------------

川俣町体育館の利用促進を図るため、地球温暖化に伴う気候変動への適応策としてサブアリーナに空調設備を設置します。



【新規】補聴器購入費用の助成

予算	60万円	財 源 町 60万円
----	------	------------

聴力低下により日常生活に支障がある中等度難聴者の方に対し、補聴器購入費用の一部を助成し、コミュニティ参加を促進します。



≪ 基本目標別 令和6年度の主な事業 ≫

事業名			新規・継続・ 拡充
	担当課		総務課
	事業費		8,000 万円
	財 源	補助	2,000 万円
		借入	4,500 万円
		町	1,500 万円
事業内容の説明			

令和6年度に要する事業費

国や県から交付される補助金

国や銀行等から借り入れするお金（町債）

皆さんからの税金や積立した基金など
町が自主的に調達できるお金

この表の見方

基本目標 1

みんなで助け合いながら
自分らしく生きるまち

地域づくりの主役は住民であるという基本認識のもと、互いに支え合う地域活動を活性化するための支援を行います。一人ひとりが地域活動への関心を高め、自治会等の地域の活動を基盤としてお互いに助け合いながら地域課題の解決やより良い地域社会の実現に取り組んでいきます。

また、性別や年齢、出身地や障がいの有無などを超え、多様な背景を認め合い誰もが自分らしく生きることができる社会を構築します。

窓口キャッシュレスサービスの導入			新規	
	担当課		政策推進課	
	事業費		534 万円	
	財 源	補助	267 万円	
		借入	—	
		町	267 万円	
役場における手数料等の支払いをキャッシュレス化するために必要なシステムを構築する。				

情報システム標準化への対応			継続	
	担当課		町民税務課 政策推進課	
	事業費		4,092 万円	
	財 源	補助	—	
		借入		
		町	4,092 万円	
住民情報に関する基幹システムの標準化へ向けた改修を行う。				

財務伝票の電子決裁の検証			新規	
	担当課		財政課	
	事業費		85 万 2 千円	
	財 源	補助	—	
		借入	—	
町		85 万 2 千円		
財務事務に関する帳票や資料のペーパーレス化に取り組む。				

デジタルを活用した安心・安心な登下校の見守り			継続	
	担当課		子育て支援課	
	事業費		149 万 6 千円	
	財源	補助	—	
		借入	—	
町		149 万 6 千円		
小学生の通学状況をお知らせするアプリを導入する。				

基本目標 2

安全で便利な生活と豊かな自然が共生するまち

日常生活の利便性を高めるための道路網や公共交通の充実、中心市街地の賑わい再生、ゆとりある暮らしのための住環境整備や公園、レクリエーションの場の確保など、特に若い世代にとって魅力を感じることをできるまちづくりを進めます。また、自然環境を貴重な資源として捉え、ふるさとの風土や里山などを守りつつ観光や交流促進において有効に活用していきます。さらに、世界的な取組である脱炭素化への取組として、住民生活や生産活動の様々な場面において二酸化炭素排出抑制を推進します。

町営住宅の長寿命化			継続	
	担当課		建設水道課	
	事業費		6,253 万円	
	財源	補助	2,781 万 8 千円	
		借入	2,820 万円	
		町	651 万 2 千円	
小綱木団地の屋根、外壁、水回り等の改修を行う。				

空家等除却事業補助金			新規	
	担当課		建設水道課	
	事業費		500 万円	
	財源	補助	—	
		借入	—	
		町	500 万円	
住宅に供する空家の解体費用の一部を助成する。				

空家改修プランの作成			新規	
	担当課		政策推進課	
	事業費		273 万 9 千円	
	財源	補助	205 万 4 千円	
		借入	—	
		町	68 万 5 千円	
モデル事業として、移住者向け空家の改修プランを作成する。				

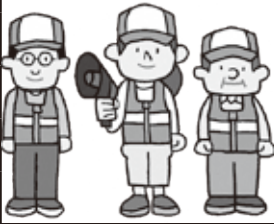
町道の改良			継続	
	担当課		建設水道課	
	事業費		1 億 7,378 万円	
	財 源	補助	5,136 万円	
		借入	1 億 2,230 万円	
町		12 万円		
町道 7 路線の改良工事及び測量設計を実施する。				

河川の維持補修			継続	
	担当課		建設水道課	
	事業費		1,699 万 5 千円	
	財 源	補助	—	
		借入	1,450 万円	
		町	249 万 5 千円	
河川の防災及び正常機能維持のための改修工事を行う。				

林道の維持補修			継続	
	担当課		農林振興課	
	事業費		605 万円	
	財 源	補助	—	
		借入	600 万円	
町		5 万円		
林道大栗線の舗装工事を行う。				

県北地方防災訓練の開催			新規	
	担当課		総務課	
	事業費		47 万 5 千円	
	財 源	補助	10 万円	
		借入	—	
		町	37 万 5 千円	
県北地方防災訓練を町で開催する。				

防災士の育成		継続	
防 災 士 証 表記の者は、 防災士であることを証します。 特定非営利活動法人 日 本 防 災 士 機 構	担当課		総務課
	事業費		16 万 1 千円
	財 源	補助	—
		借入	—
		町	16 万 1 千円
町職員の防災士を育成する。			

自主防災組織の強化・支援			新規	
	担当課		総務課	
	事業費		250 万円	
	財源	補助	125 万円	
		借入	—	
		町	125 万円	
自主防災組織の設立や活動、資材購入に係る費用を補助する。				

消防設備の強化			継続	
	担当課		総務課	
	事業費		7,276 万 5 千円	
	財源	補助	—	
		借入	7,090 万円	
		町	186 万 5 千円	
消防屯所を新築するとともに、消防積載車を購入する。				

火の見櫓の解体			新規	
	担当課		総務課	
	事業費		140 万 3 千円	
	財 源	補助	—	
		借入	—	
		町	140 万 3 千円	
倒壊の恐れのある火の見櫓を解体撤去する。				

児童遊具の撤去			継続	
	担当課		子育て支援課	
	事業費		102 万 4 千円	
	財 源	補助	—	
		借入		
町		102 万 4 千円		
小神こども遊び場の老朽化した遊具を撤去する。				

川俣町斎場の整備			継続	
	担当課		町民税務課	
	事業費		1億8,616万1千円	
	財源	補助	—	
		借入	3,000万円	
	町	1億5,616万1千円		
現在建設中の川俣町斎場の供用を開始するとともに、既存火葬場を解体し駐車場を整備する。				

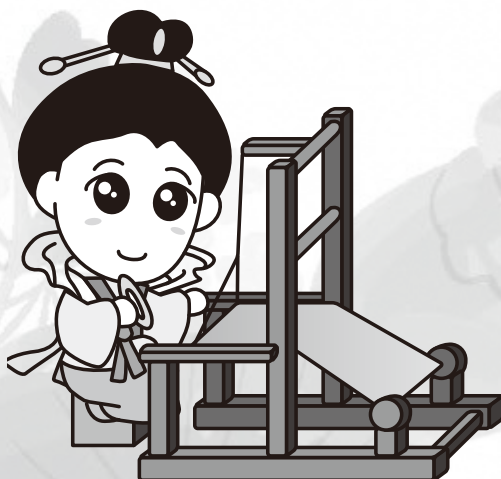
火葬場の運営			継続・新規	
	担当課		町民税務課	
	事業費		1,642 万 5 千円	
	財源	補助	—	
		借入		
		町	1,642 万 5 千円	
新旧火葬場の運営を行うほか、利便性を考慮したオンライン火葬予約システムを構築する。				

川俣町体育館照明の LED 化			継続	
	担当課		生涯学習課	
	事業費		3,081 万 1 千円	
	財 源	補助	—	
		借入	3,080 万円	
町		1 万 1 千円		
体育館内事務室、会議室等の照明の LED 化を行う。				

再生可能エネルギーの普及促進			継続	
	担当課		町民税務課	
	事業費		600 万円	
	財源	補助	—	
		借入	—	
		町	600 万円	
地球温暖化対策の推進のため、住宅用太陽光発電システム及び蓄電池の設置に対し補助金を交付する。				

合併処理浄化槽の普及促進			継続	
	担当課		町民税務課	
	事業費		2,950 万 6 千円	
	財源	補助	1,462 万 3 千円	
		借入	—	
		町	1,488 万 3 千円	
河川の水質保全のため、合併処理浄化槽の設置に対し補助金を交付する。				

井戸掘削事業への補助			継続	
	担当課		町民税務課	
	事業費		1,000 万円	
	財源	補助	—	
		借入	—	
		町	1,000 万円	
飲用水確保のため井戸の掘削費用に対し補助を行う。				



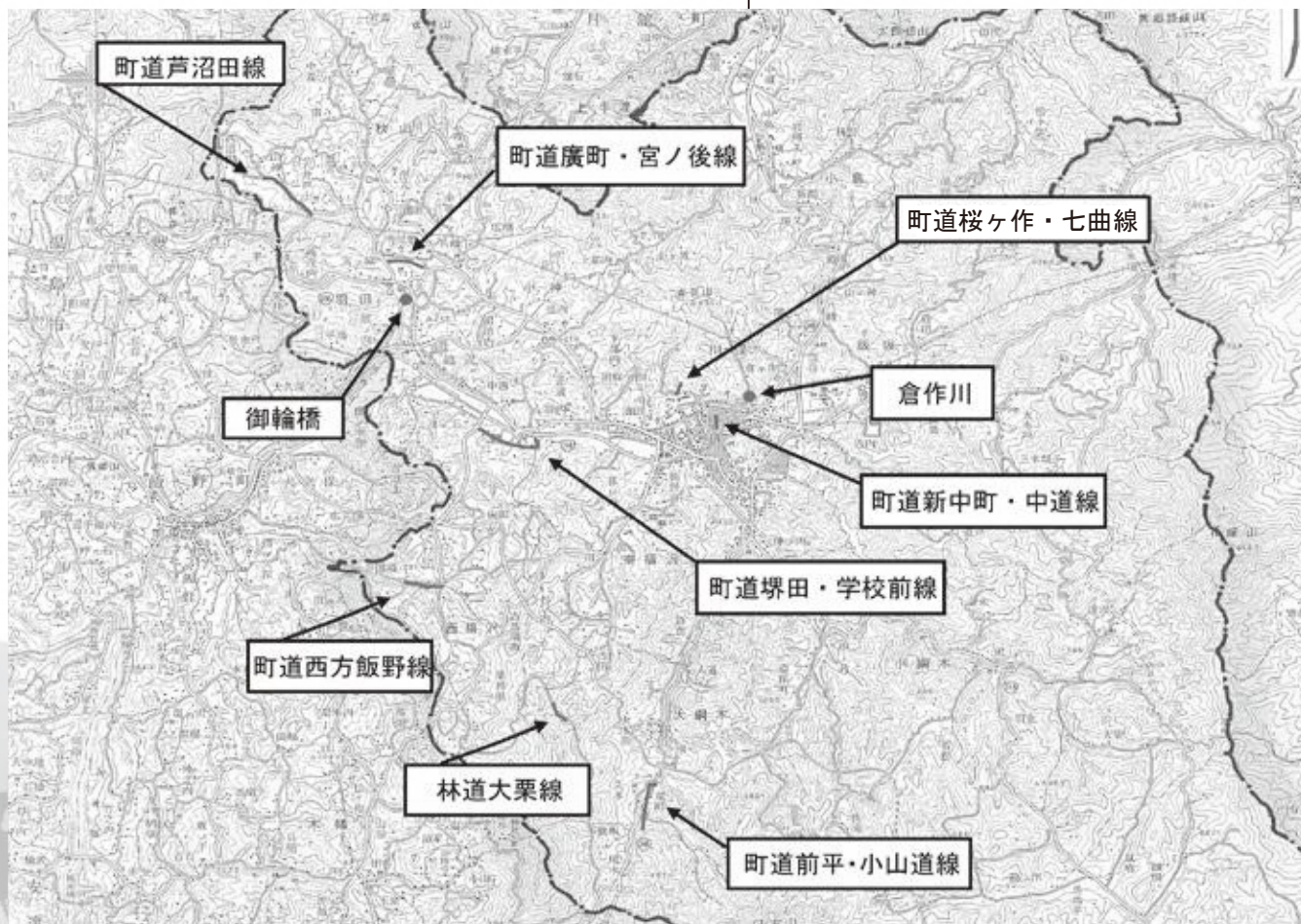
ごみの減量化			継続	
	担当課		町民税務課	
	事業費		18 万円	
	財 源	補助	—	
		借入	—	
町		18 万円		
ごみ減量化を推進するため、家庭用生ごみ処理機の購入を補助する。				

ごみのリサイクルの促進			新規	
	担当課		町民税務課	
	事業費		112 万 5 千円	
	財 源	補助	-	
		借入	-	
町		112 万 5 千円		
資源ごみの回収・リサイクルに取り組む団体へ報奨金を交付する。				

地域猫活動の支援			新規	
	担当課		町民税務課	
	事業費		30 万円	
	財 源	補助	—	
		借入	—	
町		30 万円		
生活環境の保全のため、地域猫活動に取り組む団体を支援し、野良猫の不妊去勢手術に 対し補助金を交付する。				

令和 6 年度

公共インフラ改良・補修事業予定箇所



基本目標 3

子どもから高齢者まで 元気で安心して 暮らせるまち

子どもから高齢者までそれぞれのニーズに的確に応える福祉の充実を図り、各種取組をさらに推進します。加えて、医療や介護の専門職の人材を育成・確保し、質の高いサービスが提供できるように医療・介護の体制整備の充実を図ります。

特に少子高齢化が急速に進展する中で、出産や子育ての希望をかなえることができる環境を総合的に整えていきます。これらの取組の展開にあたっては、行政サービスに加え地域全体での見守りや子育てなど、様々な場面で多様な人々との協力体制を構築していきます。

ファミリーサポートセンター支援事業		拡充	
	担当課	子育て支援課	
	事業費	280 万 3 千円	
	財源	補助	114 万 8 千円
		借入	—
		町	165 万 5 千円
未就学児の利用料の半額を助成する。			

児童手当の増額		拡充	
	担当課		子育て支援課
	事業費		1 億 2,300 万 5 千円
	財源	補助	1 億 387 万 2 千円
		借入	—
		町	1,913 万 3 千円
法改正に伴い高校生世代まで児童手当を拡充し、第 3 子以降の手当を増額する。			

子どもの国民健康保険税の負担軽減			新規	
	担当課		保健福祉課	
	事業費		198 万円	
	財源	補助	—	
		借入	—	
		町	198 万円	
18歳以下の子どもに係る均等割を減免するためのシステム改修を行う。				

わいわいクラブ（学童保育）の運営			拡充
	担当課		子育て支援課
	事業費		2,631 万 3 千円
	財源	補助	292 万 2 千円
		借入	1,400 万円
		町	939 万 1 千円
旧すみよし保育園に移設し、学童保育体制を充実させる。			

地域医療の維持			拡充	
	担当課		保健福祉課	
	事業費		8,500 万円	
	財源	補助	—	
		借入	—	
		町	8,500 万円	
地域医療維持のため、公的病院である済生会川俣病院への補助を拡充する。				

栄養指導による生活習慣病重症化予防事業			拡充		
		担当課		保健福祉課	
		事業費		68 万 2 千円	
		財源	補助	68 万 2 千円	
			借入	—	
			町	—	
保健指導に戸別訪問による栄養指導を追加する。					

お薬手帳の作成			新規		
		担当課		保健福祉課	
		事業費		21 万 1 千円	
		財源	補助	—	
			借入	—	
		町	21 万 1 千円		
適正服薬促進事業として、町オリジナルのお薬手帳を作成する。					

高齢者情報リテラシーの向上			継続	
	担当課		政策推進課	
	事業費		135 万 6 千円	
	財源	補助	—	
		借入	—	
	町	135 万 6 千円		
高齢者向けスマートフォン教室の開催及び高齢者のスマートフォン購入への助成を行う。				

デジタルサポーターの育成			新規	
	担当課		政策推進課	
	事業費		72 万 9 千円	
	財 源	補助	—	
		借入	—	
		町	72 万 9 千円	
高齢者がデジタル技術に触れることをサポートする人材の育成を行う。				

重層的支援体制の整備				新規	
	担当課		保健福祉課		
	事業費		3,981 万 3 千円		
	財 源	補助	2,438 万 4 千円		
		借入	—		
		町	1,542 万 9 千円		
福祉・医療分野の連携による多機関協働、アウトリーチなどを本格的に実施します。					

【令和6年度】町が行う子育て支援事業一覧

	妊娠中	出産時	出産後	未就学児	小学生	中学生	高校生	大学・専門学校等
相談支援	【新規】こども家庭センターの開設 妊婦、子育て世帯、子ども本人に対して一体的な相談支援体制の構築							
経済的支援		ファミサポ利用券配付	【新規】未就学児ファミサポ利用半額助成				【新規】児童手当の支給拡大	
	妊産婦タクシー利用支援				【新規】国民健康保険において18歳以下の子どもの均等割を減免			
	出産応援給付金	子育て応援給付金		【新規】認定こども園利用料無償化	入学祝金		【新規】高校・大学等進学に奨学金を貸与（奨学資金）	
	ベビー用品配付	出産祝金	産後健診費用助成	認定こども園給食無償化	学校給食費無償化		若い力を、活力ある産業、移住・定住につなげる取り組み	
特色ある教育				【拡充】小学5年生から中学生の英検受験料を支援 GIGAスクール構想によるデジタル教育の実践				
登下校					デジタルを活用した子ども見守り事業		【新規】川俣高校の魅力向上支援 ・奨学資金の利用者が卒業後、町内に居住・就業等により一部返還を免除	
放課後					【拡充】わいわいクラブ、土曜学習プランの移設・充実		・学生や若年層に継承していくモノづくり活性化事業 ・大学との連携による事業の構築	

基本目標 4

充実した学びと独自の文化を創造するまち

教育における ICT 化とグローバル社会に対応する多様な教育システムの導入を引き続き進めていきます。一方で、本町が紡いできた歴史や文化、芸術に触れる機会の充実を図るとともに、心豊かにたくましく生きていくための力を育むことができるよう、家庭、地域社会との連携強化による教育力の向上に努めます。さらに、生涯学習や生涯スポーツ活動を積極的に推進するとともに、地域に根ざした文化、伝統などの保存、伝承に努め、地域の素晴らしさを後世に伝えます。また、歴史・伝統文化を情報発信し、町外人材との交流を進め関係人口を増加させます。

土曜学習プランの実施			拡充	
	担当課		学校教育課	
	事業費		51 万円	
	財源	補助	—	
		借入	—	
		町	51 万円	
実施場所を旧すみよし保育園に移転する。				

外国語学習の支援		拡充	
	担当課		学校教育課
	事業費		112 万 3 千円
	財源	補助	—
		借入	
		町	112 万 3 千円
英検受験の支援を小 5 ～中 3 までに拡大する。			

ICT 教育の推進		継続	
	担当課	学校教育課	
	事業費	3,287 万 5 千円	
	財源	補助	—
		借入	
		町	3,287 万 5 千円
小・中学校における GIGA スクール実践環境を整備する。			

奨学資金の返還免除			新規
 奨学金	担当課		学校教育課
	事業費		—
	財源	補助	—
		借入	—
		町	—
奨学資金の借受者が町内に一定期間就業等した際に返還金の半額を免除する。			

中央公民館ホール照明リニューアル記念事業の開催			新規	
	担当課		生涯学習課	
	事業費		261 万 1 千円	
	財源	補助	—	
		借入	—	
		町	261 万 1 千円	
ホール照明の LED 化工事竣工を記念したイベントを実施します。				

移住求人確保事業			継続	
	担当課		政策推進課	
	事業費		1,375 万 9 千円	
	財源	補助	1,031 万 9 千円	
		借入	—	
		町	344 万円	
企業と連携した求人の発掘及び情報発信を行う。				

基本目標 5

産業と働く人が いきいきと輝くまち

農林業については、農林業従事者の高齢化と担い手不足が深刻化していることから、引き続き農業生産物の高付加価値化、新たな販路の開拓に努め、遊休・荒廃農地については農地の集約、有効活用により未利用地の解消を図ります。工業については、近年主力となっている輸送用機械、金属機械加工、電子・機械部品製造などについて、技術力の向上や人材育成の支援を図るとともに、雇用の場を創出するための企業誘致を展開します。商業については、中心商店街のにぎわいの再生、空き店舗や空き家の活用による新たな交流の場の創出を図ります。さらに観光については、地域の自然資源や歴史・文化資源を生かした活性化に取り組みます。

ふるさと大使と連携した町の魅力向上			新規	
	担当課		政策推進課	
	事業費		155 万 7 千円	
	財源	補助	—	
		借入	—	
		町	155 万 7 千円	
多方面で活躍する町内出身の「ふるさと大使」を講師とした研修会等を開催する。				

首都圏等での農産物 PR			継続	
	担当課		農林振興課	
	事業費		566 万円	
	財 源	補助	233 万円	
		借入	—	
		町	333 万円	
町と交流のある東京都江東区等での農産物 PR イベントを開催する。				

土壌分析の推進			新規	
	担当課		農林振興課	
	事業費		50 万 3 千円	
	財源	補助	—	
		借入	—	
		町	50 万 3 千円	
農地の土壌分析に係る経費の一部を助成する。				

町広報ポスターの制作			新規	
	担当課		総務課	
	事業費		24 万 8 千円	
	財源	補助	—	
		借入	—	
		町	24 万 8 千円	
見た人の印象に残る町の PR ポスターを作成する。				

花塚山の東屋整備			新規	
	担当課		農林振興課	
	事業費		1,088 万 7 千円	
	財源	補助	—	
		借入	1,080 万円	
		町	8 万 7 千円	
花塚山の東屋を整備するための設計を行う。				

里山スタンプラリーの開催			継続	
	担当課		政策推進課	
	事業費		237 万 6 千円	
	財源	補助	—	
		借入	—	
		町	237 万 6 千円	
町内の里山をめぐるスタンプラリーを開催します。				

基本目標 6

原子力災害からの 復興を目指すまち

放射線に対する不安がなく、安全・安心に暮らすことができるよう、仮置場の原状回復に努めるとともに、必要な除染や放射線モニタリングを継続します。また、産業復興として、農林業や観光に今なお残る風評の払拭、ALPS 処理水などにより懸念される新たな風評への防止対策に取り組みます。さらに、被害を受けた事業者が事業を再開・継続できるよう支援を行います。

山木屋地区においては、地域の活力とコミュニティの再生に向けて、引き続き各方面からの復興を進めます。また、復興拠点商業施設「とんやの郷」を拠点として、地域の絆とにぎわいの再生を図ります。

山木屋防災拠点施設の整備			新規	
	担当課		原子力災害対策課	
	事業費		7,937 万 6 千円	
	財源	補助	5,953 万 2 千円	
		借入	—	
		町	1,984 万 4 千円	
山木屋地区に新たな防災拠点施設を整備する。				

とんやの郷の魅力向上			新規	
	担当課		原子力災害対策課	
	事業費		15 万円	
	財 源	補助	—	
		借入	—	
		町	15 万円	
おきがるマルシェにあわせた講座の開催等を行う。				

記録映像の作成支援			継続	
	担当課		原子力災害対策課	
	事業費		498 万 2 千円	
	財源	補助	—	
		借入	—	
町		498 万 2 千円		
山木屋地区住民による記録映像の作成を支援する。				

地域コミュニティの維持・再生			継続	
	担当課		原子力災害対策課	
	事業費		357 万 5 千円	
	財源	補助	—	
		借入	—	
		町	357 万 5 千円	
山木屋地区コミュニティの維持・再生のためのイベントを実施する。				

仮置場返還工事の加速化			継続	
	担当課		原子力災害対策課	
	事業費		1 億 5,747 万 9 千円	
	財 源	補助	1 億 5,747 万 9 千円	
		借入	—	
		町	—	
除染廃棄物仮置場（2 か所）の返還工事を進める。				

サイクルロゲイニング大会の開催			拡充	
	担当課		政策推進課	
	事業費		627 万 7 千円	
	財源	補助	313 万 8 千円	
		借入	—	
		町	313 万 9 千円	
サイクルロゲイニング大会にウォーキング部門を追加して開催する。				



川俣町のわかりやすい予算 令和6年度版

発行年月日 令和6年5月

発行・お問い合わせ先 川俣町財政課

電話 566-2111（内線 1203）